



2012年1月1日

セカンドハンド通信 NO.67

セカンドハンド 本部事務局 TEL&FAX 087-861-9928
 〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18
 E-mail:jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://2nd-hand.main.jp/



あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。



ンコンジェ・コミュニティースクール ザンビアの小学校が生まれ変わりました

現地スタッフから、新しい校舎で授業を始めた生徒たちのインタビューが届きました！
 500人の生徒にたった2教室しかなかった小学校。
 支援で2棟の校舎が出来、今、喜びに溢れています。



新校舎で勉強する子ども達



2棟の新校舎

ピスタ君(6年生)

前の教室は、砂埃がいつも入ってきていたし、土の床だったから砂だらけだったんだ。授業中みんな咳をしていたし、僕も目も痒くなることが多かった。でも新しい教室にはガラス窓があるし、コンクリートの床もある。もう咳をすることも無いです。



左よりアニータちゃん、ピスタ君、ケルビン君

ケルビン君(7年生)

教室はぎゅうぎゅう詰め。机も椅子も無かったから、みんな丸太や地面に座って膝の上でノートを取っていましたが、ゆったりと座って勉強できるようになって嬉しいです！

アニータちゃん(6年生)

前の教室では雨漏りがひどかったから、雨期の間は濡れながら勉強していました。でももう雨が降り込むことも無いし、雨期でも安心して勉強できます。

シアドゥンカ校長

今週だけでも入学、転入で6人の新しい生徒がきました。保護者は自分たちが頑張って作った学校に子どもを通わせようと考えようになってきました。教育に対する保護者の意識が高まり、より多くの子どもが学校に通えるようになればこんなに嬉しいことはありません。セカンドハンドを通じてご支援を下さった皆さんにはどんなに感謝してもしきれません。

ホームランド孤児院 4月開始の フォスターペアレント募集！

ストリートチルドレンなど様々な背景を持つ子ども達をフォスターペアレントになって支えてください！

月3,000円／5,000円で支援ができます。詳しくは事務局にお問い合わせください。



「セカンドハンド」は、ボランティアが主体となって運営する国際協力団体です。主な支援先はカンボジアで、学校建設や奨学金支援などのほか、自立・医療・孤児院支援を行っています。資金源は皆様のご寄付とチャリティーショップ(提供された品物を無報酬のボランティアスタッフが販売)。一人ひとりの力は小さくても集めれば大きな力となる」をモットーに活動しています。世界の誰かのために、あなたの力を貸してください。

商品提供やご寄付など、支援してくださった皆様へのお礼とご報告は、このニュースレターにかえさせていただきます。

日本の母子保健管理について学ぶ

アフリカからは、セネガルやジブチ、ベナン、そしてフランス語つながりでハイチからの研修員計8人が10月24日～11月10日に来日しました。この事業は、JICAから委託契約を受けセカンドハンドが企画、調整、実施を担ったもので、今回は助産師や保健局などの方を対象に研修を行いました。プログラムは、行政や市民団体が様々な角度で提供する母子保健サービスや障害者支援、環境問題など広く捉えた充実した内容で、研修員も大満足で帰国しました。

最終日の評価会では、「帰国後、機材がなくても導入できるヨガ教室や家族を巻きこんだ啓発などはすぐにでも取り組みたい」「局で共有し課題の解決計画を策定したい」などの積極的な意

見が聞かれました。このような事業を通していつも感じるのですが、研修員の国はカンボジアの様に貧困国ゆえの難しさを多く抱えています。その中で何とかしていこうという姿は、私達にパワーを与えてくれます。同時に、日本に暮らす私達がいかに様々なサービスで守られているのかということも気づかせてくれます。当たり前ではないのだと。彼らもまた、日本人の姿を見て、ホスピタリティ、愛情、礼儀、チーム精神の良さなどに魅せられたそうです。

最後に、研修実施に当たり多大なるご協力をいただきました関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。



ベビーマッサージの見学



かが国国際フェスタでアフリカのファッションショー



修了式にて集合写真

アドバイザーを迎えて

組織強化に向けて取り組み中です

昨年12月からJICAアドバイザー派遣制度の支援を受け、セカンドハンドの「広報力強化プロジェクト」が始まりました。少ないスタッフで活動を支えるセカンドハンド。チャリティーショップや年間20回を超えるイベント、様々なネットワーク・・・今、持てるものをさらに生かし活動を充実させようと、事務局と運営委員が研修を受けることになりました。2月末までの計8回、東京から広報の専門家に来ていただき、組織を見直していきます。

研修では、団体のコンセプトや目的、ビジョンのほか、問題点についても話し合いました。もちろん、自分たちのことは自分たちが分かっているはず…なのですが、ワークショップでは改めて団体の強みや弱み、性格が明確になり、新しい発見がたくさんありました。最終回までにイベント企画・運営やホームページ、パンフレットなどについて助言をいただき、リニューアルしていく予定です。パワーアップしていくセカンドハンドにご期待ください！

ネット販売に向けて準備中です

チャリティーショップ以外でも買っていただける機会を作ろうと、ネット販売の準備を進めています。セカンドハンドのレアものや高級品がオークションなどで見られるはず。販売開始は改めてお知らせします。

ホームページの
リニューアル作業、
ネット販売の体制作り
にご協力いただける方
募集！

母子ともに健康な出産を迎えられるように。。

— ボエントム地区 医療施設の再開に向けての建設支援 —

ボエントム地区は、以前から支援しているプノンペン市西部保健局の管区内にあり、同保健局内の医療施設支援は5棟目になります。プノンペン市は4つの保健局に分かれており、その中でも一番多い35万人以上の人口を抱える同保健局は、面積も広く、貧困層の人々がたくさん居住する課題の多い地域でもあります。昨年、ボエントム地区が同保健局の管轄に入り、局長からセカンドハンドに「この地区には13年前から病院が一つもない。お産ができる医療施設を支援してもらえないか」という相談があったのが支援のきっかけでした。そして、視察と聞き取りを行った上で支援することが決まりました。



た上で支援することが決まりました。

セカンドハンドでは2005年、2006年と同保健局にお産できる医療施設を建設支

援しました。それ以降、人々がその病院で出産できるようになっただけでなく、衛生的になった病院に人が来るようになり病院が活性



13年前に閉鎖されたボロボロの病院があった

化。その結果、病院を拠点に予防接種等、人々の健康管理もできるようになるなど予想外の効果もあり、目的の乳幼児死亡率も大幅に減少したのです。以降、局長は前以上にお産できる施設の必要性を感じ、力を入れています。

カンボジアでは、病院が近くになく「出産時に病院にたどりつく前に亡くなってしまった」という話を聞くことは少なくありません。母子ともに健康なお産を迎えられるように、またそこに暮らす人々が健康であり続けられるように、施設の建設支援にご協力ください。建設費は総額360万円です！

センソック地域の奨学生たちの近況報告

カンボジアの新学期は10月。セカンドハンドユースが奨学金の支援を行うプノンペン市郊外の低所得者居住区・センソックの生徒8名は、昨年また新しい学年を迎えました。

唯一高校3年生だったナバンは無事に高校を卒業し、進学したのは全国でもトップクラスの学生が通うプノンペン国王立大学。学校の他に特別な教育を受けられないセンソックの生徒が入学するということは凄いことです！ナバンが抜けた後、CHAMROUENという女の子が仲間に加わりました。

もう一つは残念なお知らせですが、高校2年生だったソティラが10年以上も家に戻っていなかった父親に連れ出されてしまいました。性産業などの被害に遭っていないか心配する中、連絡が取れ居場所も分かったものの、父親とその彼女の元に居て、センソックには戻れないとやむなく奨学金からも外れました。父親のために稼ぐことになるのでしょうか…。代わりに高校1年生のナリーが加わりました。

経済的な理由、また大人の都合で受けられなくなるということは本当に残念なことです。ですが、支援により高校を卒業できた生徒達は夢に向かって進学、また仕事を見つけ働くことができるようになっていきます。人生の悪循環を断ち切った人が、今度は周りを助けられるようになる…。いい循環に変えられるようセカンドハンドユースも頑張っています。皆様の応援、よろしくお願い致します！



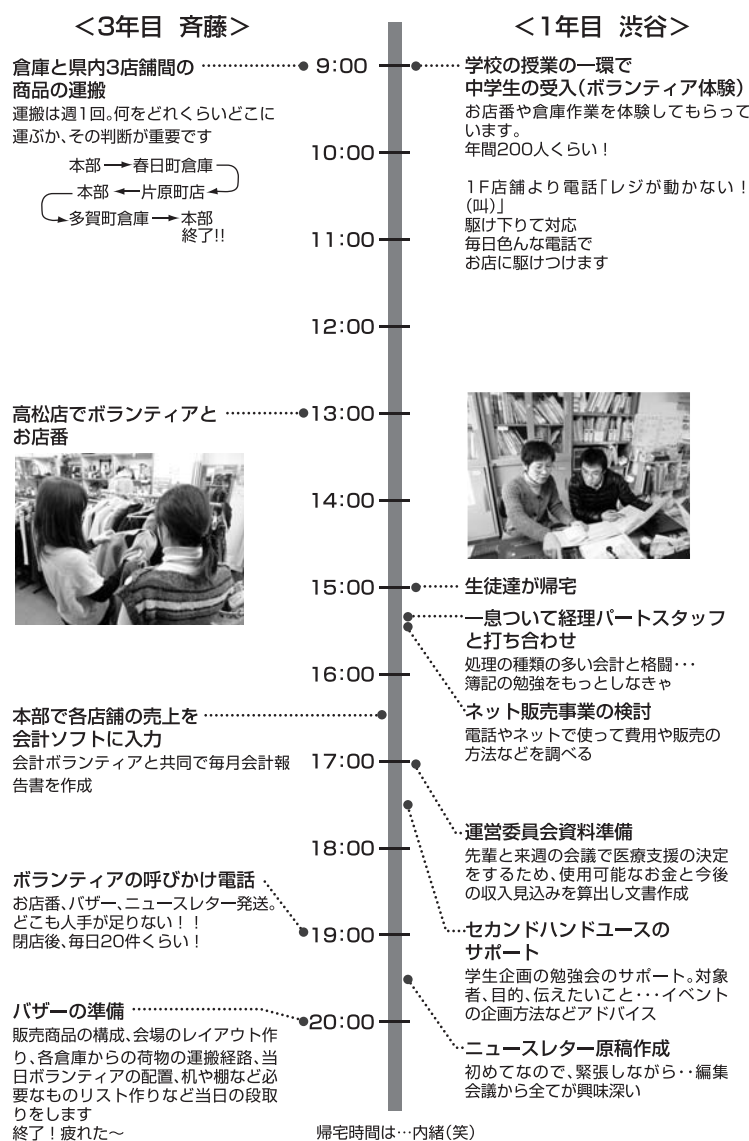
センソックの奨学生達とセカンドハンドユースのメンバー

思いを形に変える ～事務局の役割～

1994年、カンボジアに本を贈ることから始まったセカンドハンドは、国内外のニーズに合わせ徐々に事業を拡大してきました。そして、1998年、継続的かつ活動を充実させるために、有給スタッフを置く事務局を設置しました。以降、事務局は陰で運営を支える裏方として奔走し、組織も公益法人化を果たすなど、団体の成長にも貢献しています。

現在は、常勤3名、パート(経理と店舗)2名の有給スタッフで運営していますが、それでも溢れる業務に埋もれている状況です。周囲からも「20人くらいスタッフがいるかと思ったけど驚き!」「忙しそうだけど何をしているの?」と色んな声を耳にしますが、そんな事務局の仕事や役割についてご紹介します。

スタッフの一日を追ってみました!!



チャリティーショップの運営

チャリティーショップは、支援金を集めると同時に、様々な国際協力の情報を発信して支援者と支援先とつなぐ大事な玄関口でもあります。このショップがより有効に活かされるように、どうすれば売上が上がるか、どうすれば商品の流れがよいか、どうすればボランティアの方が作業しやすいかなどを考えながらマネージメントをしていくのも大事な事務局の役目です。

店舗や倉庫のレイアウト決めや配置、商品の値段付け、作業マニュアルの作成などのほか、展示物作成、バザーの会場探し・開催、それらのボランティアコーディネートなど挙げればきりが無い程。実は事務局の業務の半分以上占めているんだよ。



広 報

活動を充実させるには、多くの人に知ってもらうことも大切。ポスターの製作、3カ月に1度のニュースレター発行、テレビや新聞などのマスコミの対応、ホームページの更新、メールニュースの配信などを行っています。学校などから講演活動を依頼されることもあり、国際支援の意義や現状を幅広い世代に伝えています。



イベントの事前告知のために、FAXでマスコミへのプレスリリースや、活動を知ってもらうための情報発信って大切だね。全部の把握はもちろん、対象ごとにポイントを押さえて伝えるんだ。

総会・理事会等の開催

セカンドハンドの決算・事業報告の承認を得る総会や、予算・事業計画など1年間の方向性に関する重要事項について決める理事会の資料作成や開催の準備をします。計画した事業を実施できるよう、月1回は理事などが参加する運営委員会を開催し、具体的なイベントの企画や事業の進行状況、問題点も話し合っています。

会議資料は、事務局の方向性を持って作成するんだ。現状や成果、問題点などをきちんと把握して準備しなければ、会議で間違った判断をしてしまう。責任重大だね。



事務局の仕事は目に見えにくいものですが、実は重要な役割を担っています。コーディネーターとしての力をつけていくためには、様々な経験を経ていかなければなりません。その様な人材を育てるために時間を要す場合もありますが、その人材が育った時には大きな力を発揮します。東日本の被災地支援の際に物資輸送などで迅速な対応が可能だったのは、事務局の働きがあったからです。マスコミを通じての広報、受入れ体制準備、そして物資受入をしながらの仕分け、仕分けボランティアのコーディネート、輸送車が現地に行くための緊急車両の申請...現地での調整などがありました。

支援先の状況把握

セカンドハンドの事業はカンボジアの現地団体と連携しているものがほとんどで、現在、支援先との調整や連絡は理事長や前理事長が担っています。そのため、事務局は資料や会計の管理、進行状況の聞き取りのほか、現地視察をして各事業の管理をしています。



支援の状況や現地の情報を把握して、支援者の皆様にご報告することが、団体としての責任だからね。

総務・経理・労務...雑務(?)

各店舗・本部の入出金管理や会計報告書作成、就業規則の作成や保険関係の手続き、内閣府への提出書類作成、法務局への変更登記申請、助成金申請...経験のないことも、プロにアドバイスをいただきながら、事務を進めています。また、事業や事務所内の業務に関するマニュアル化も進めるなど、積み上げたノウハウを引き継いでいけるようにしています。

事務ってというと、入力するとか決まった形に作るというイメージを持つかもしれないけど、何もかもゼロから作ってるんだ。公益法人化の時も、法律関係の資料や分厚い参考資料に悪戦苦闘したんだ。



ボランティアの力を活かす調整役

仕事や家庭を抱えながら関わるボランティアの方々。限られた時間で来られるボランティアの力を有効に活かそうと、仕事とマッチングする役目です。チャリティーショップ、倉庫、事務などの仕事に向いていそうかなどを見極められるように努力しています。



人との交流、やりがい、国際協力活動について学びたいなど何を求められているのかはボランティアの方によって様々。思いやスキルがマッチして、生き生きと活動するボランティアの姿を見ると嬉しくなるんだ!

事務局は団体のコーディネーター

この他にも役割はありますが、一貫して事務局は、団体の全体を把握しながら、目的に向かって人を束ね、人をつなぐコーディネーターの役割を担っているのです。それぞれの事業を円滑に進めるには、調整力、問題解決力、分析力、決断力、観察力、先を見据える力などが求められています。例えば、倉庫に入れる棚が大量に必要な時のことです。一部は材料を調達して協力者の方によってもらい、足りない分は呼びかけ企業の不要な棚を調達。さらに足りない分は電話帳にある木材店に連絡して廃材を調達し、建設会社に組み立ててもらったことがあります。本来ならば20万円以上かかるところが1万円以内に収まりました。これはほんの一例に過ぎませんが、日々、スタッフは、多岐に渡る事業を通じて力をつけていきます。

日本では「寄付金からスタッフの給与を出すなんて」と言われることがありますが、例えば1万円の寄付金を倍以上の価値として活かせる様に働くのが事務局の役割と認識しています。欧米諸国では、このような市民団体のコーディネーターが大きな力を発揮しています。より良い活動、継続した支援活動を行うためにはこのような人材が不可欠なのです。セカンドハンドの事務局もまだまだ発展途上ですが、今後とも応援よろしくお願い致します。

支援につながる様々なイベント ご協力ありがとうございます!

一宮中学校 One Day チャリティショップ

きっかけは9月18日にユースが開いたホームランド孤児院の2名との交流会。訪れた一宮中学校の生徒さん達がカンボジアに大変関心を持ち、すぐに文化祭でユースが支援する奨学生の支援バザーを生徒会を中心に企画してくれました。当日も「こうやったらお客さんから見やすいかな?」「放送部に頼んで校内放送しよう」と工夫したり、先生にお願いして開催時間を延長したりするなど、行動力とエネルギーに圧倒されました。結果、売上と募金を合わせて計98,531円と素晴らしい成果に驚きました!これからこのようなイベントを広めていきたいです。

(セカンドハンドユース 太田)



一宮中学校の生徒さんと太田さん(前列右)

カンボジア商品販売で 国際協力!

カンボジアの女性たちが一つ一つ丁寧に作ったカンボジア商品、最近、色んな方が販売に協力してくださっています。9月にPapuPapu(徳島文理大学国際教育支援団体)がフェアトレードイベントの中で、10月に中学生の皆さんが学校の文化祭で、11月に神奈川県の方がフリーマーケットと、「作りがしっかりしている」「かわい〜!」と好評だったと聞くと嬉しくなります。また、ふとお会いした方がカンボジア商品を身につけていたりしてさらに嬉しくなることがあります。幸せの輪がひろがりますように…。皆さんありがとうございます!



徳島文理大学でのカンボジア商品販売

東日本大震災復興支援コンサート

「和の心」

11月20日、邦楽あんさんぶる琴葉が開催するコンサートの会場にお声かけいただき募金活動を実施しました。総額49,352円集まり、多くの人の思いが詰まったコンサートの力を感じる事ができました。「春の海」と「また君に恋してる」の2曲が印象に残りました。2012年の春をたくさんの方が穏やかに迎えて欲しいという思い、今まで以上の人の繋がりと絆の大切さを感じました。

(セカンドハンドユース 川田)

■このコーナーのグッズはメール、FAXでお申し込み頂けます。

E-mail : jimukyoku2hand@yahoo.co.jp

FAX : 087-861-9928



GOOD
GOODS

カンボジア支援につながるフェアトレード商品

財布の寿命は1000日。新春に買い替える財布を春(張る)財布と呼びお金が貯まるとも言われています。新しい年にカンボジアの女性もハッピーになる財布を使ってみませんか?



おしゃれで使いやすい!

折りたたみシルク	1,800円	(品番1121)
コットン	1,500円	(品番1122)
長財布シルク	2,800円	(品番1168)
コットン	2,000円	(品番1105)

〈郵送での商品をご希望の場合〉

●下記の郵便振替口座に「カンボジア商品希望」と明記し、住所、氏名、希望商品、商品番号をご記入の上、商品代金に500円を加えてご入金ください。

※合計1万円以上お買い上げの場合、送料無料

【郵便振替口座】 ※同封の用紙がご利用いただけます。

口座番号:01620-6-60029 加入者名:公益社団法人 セカンドハンド

SPECIAL THANKS 〈敬称略〉

10月21日~12月14日までの3ヵ月間にご寄付などで協力くださった方々です。ここには掲載しきれない、その他に様々な形でご協力くださった皆様もありがとうございます。【店舗・倉庫】株式会社マルナカ(丸亀店)、西川(福岡店)、(株)セシール(春日町)【出店協力】4町パティオ広場運営委員会、オイスカ四国研修センター、三宅産業(株)、森近明夫、【ニュースレター発送】後藤家、高倉恒三、その他たくさんの方々【寄付】香川/入江治子、笠居久男、Café Yula、関みどり、大同ガス産業(株)、鳥かい歯科医院、沼田章、びかでり屋、久松恵津子、松原志乃、マハコ、馬淵和哉、三谷範至、三原主幹、宮井美恵子、三好富士夫、森谷芳子、横田千春、愛媛/友近規、大分/村上和代、岡山/沖野貞子、岡山県立津山東高等学校、西川秋美、神奈川/長山喜代子、東京/小岸弘和、小林規子、武居充、日永勝裕、山崎唯司、徳島/饗場和彦、福岡/吉田治代、森一郎、北海道/大波美栄子、三重/酒井恵津子【その他】香川マツダ、コスモ商事(株)、佐川急便(株)、損保ジャパン高松支店、天勝(丸亀)、nico café、林田物流(株)、ブルワン、Honda Cars 香川屋島店【ニュースレター作成】(株)アイコー印刷



寄付やSOS会費のお支払いがインターネットからできるようになりました。詳しくはセカンドハンドホームページ (<http://2nd-hand.main.jp/>) をご覧ください。



ひろがるセカンドハンドの輪



セカンドハンドユース

◆国際協力隊 小指会 & フェアトレード隊 LIFT ・奨学金支援活動

皆で意見を出し合うことで視野も広がり、イベントを創り出していくことが面白くなってきました。今後は、メンバーを増やし、国際協力ステージのような大きなイベントをしていきたいです。

(太田)

・フェアトレード活動

2011年は多くの人々と触れ合い、国際協力の広がりを感じました。この輪をもっと広げたい！ということで、今後はフェアトレード啓発のポスターを作成し、学校や地域で知ってもらおう機会を作っていきます。(瀧口)

メンバー募集中！

興味のある方はぜひぜひ連絡ください〜♪

secondhand_youth@yahoo.co.jp



かがわ国際フェスタに出店
ユースが開発した商品も販売

◆関東ユース



10月に国際基督教大学の大学祭で焼き鳥屋台を出店しました。結果は見事完売！約9万円の利益でした。多くの方がパンフレットを手にとってくださり「チャリティー」も意識

してもらえました。収益金は、奨学金と東日本の支援に充てられます。年明けからはフリマに出店するなど、引き続き頑張っていきます！

丸亀店

昨年は10月から楽しさとワクワク感のある袋詰めセールを1階の表玄関で行いました。衣類、食器、雑貨など、なんでも詰められるだけ詰めて500円ぽっきりというもの。今年も随時開催します。お正月は元旦から衣類のお年賀100円セールをやります！

ボランティアの方の個性が光る丸亀店。“何かわからんけど何かがある”丸亀店を目指します。

(原)

セカンドハンド北海道

昨年も展示やフェアトレード商品販売などイベント参加中心の活動でした。スタッフは少ないのですが、仕事や勉強の間に時間を作ってくれて活動ができました。活動を知った方が、スタッフとして参加してくださったり、ご縁をくださりイベントに参加できたこともありました。本当に少しずつですが、合わせれば力になることを改めて感じています。今年も少しずつ目の前のできることを続けていきたいと思っています。よろしくお願いします。

セカンドハンド福岡

昨年はスタッフの入院や介護、高齢化により、月曜日のオープンを維持することで精一杯でした。楽しいお茶会は変わらず開催中です。新規ボランティアを切に募集しています！

連載スタート!

「どんな人達がボランティアしているの〜?」

〜お店番スタッフ編〜

活動を最前線で支えるボランティアスタッフ。セカンドハンドでは小学生から80歳を超える方が、それぞれできることで活動しています。今号より、様々な場所で活躍するスタッフのインタビューを紹介していきます。



岡田千恵子さん

(団体設立2年目より参加。食器、雑貨値付けのスペシャリスト&ファンの多い看板娘)

10年も経つんやなあ。品物を持ってきた時に声をかけられたのがきっかけです。この場所があることが有難いです。だって、80歳を過ぎた私がどこで仕事ができると思いますか(笑)私にとって生き甲斐です。たくさんの人にボランティアに来て欲しいです。



渡辺竹代さん

(2001年より参加。お店番・商品全般の値付け担当&周りを笑顔にするムードメーカー)

国際支援って難しいと思っていたけど、ずっと何かやりたいと思っていて、それが叶ったんです。ここでは小さいことでも役に立つんですもん。私はそう感じます。他では出会えない人たちに会えたこと。それが私の「宝物」です。



フリーマーケット隊募集中!

セカンドハンドの商品をフリーマーケットで販売しませんか? 詳しくは事務局まで。

提供品受付

冬物:1/31まで
春物:2月から受付スタート
食器、日用品等など季節のないものは
常時OK。

【送り先】〒761-0101 高松市春日町1586-1
セシル春日物流センター内 セカンドハンド
(※平日必着。持込は受付けていません)
【持込先】セカンドハンド高松店

集めています！

書き損じハガキ・使用済み切手
書き間違えたりして投函しなかった
「年賀ハガキ」がありましたらぜひご
提供ください。

Second hand Official Supporter (SOS会員)募集

資金面で安定して活動を支えてくださる賛
助会員を募集しています。4月スタートの1年
毎の更新となりますが、いつでも加入できま
す。ぜひ、応援してください。

	①一年一括	②定額自動送金 (毎月)
個人	一口 10,000円	一口 2,000円
企業・団体	一口 20,000円	一口 3,000円

お振込みは同封の郵便振替用紙をご利用ください。
定額自動送金はセカンドハンドHPから
お申し込み可能になりました！

ボランティアスタッフ 募集中

お店番、倉庫作業、運搬、どこも人手
が不足しています。月1回～週2回な
どそれぞれのペースで参加できます。
活動に参加してみませんか？

探しています！

子機2個付きFAX電話
ご自宅、会社で使用していたもので使
わなくなったもののお譲りください。

インターネットからもご寄付できるようになりました！
詳しくはセカンドハンドのホームページ (<http://2nd-hand.main.jp/>) をご覧ください。

書き損じハガキと使用済み切手 年間報告！

書き損じハガキ・・・67,920円(2010.12～2011.12)
使用済み切手・・・89,880円(2010.1～2011.11)
たくさんの協力ありがとうございました。

倉庫整理ボランティア募集中！

倉庫の整理、商品値段付け、棚の整理など。人手が必要な作
業です。ぜひ手伝ってください。

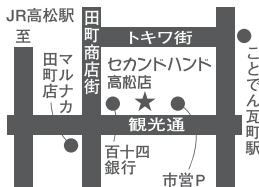
セカンドハンドイベント&ボランティア情報

セカンドハンドのお店、イベントの収益金の一部は被災者支援に充てられます

日 程	内 容	場 所 (記載なし＝高松市)
1月3日(火)	雲辺寺 チャリティーバザー	四国霊場第66番札所雲辺寺
2月18日(土)	Love&Peace フリーマーケット出店	札幌市
3月2日(金)	「地域教育力を高めるボランティアセミナー」にて登壇(新田)	東京都台東区
3月29日(木)～31日(土)	第3回 被災地支援チャリティーバザー	JR高松駅構内
4月28日(土)・29日(日)	ニュースレター発送作業	セカンドハンド本部

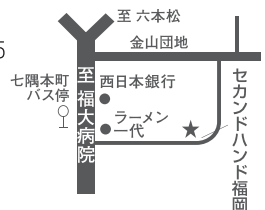
高松店

■セカンドハンド本部(3F)
■高松店(1F)
〒760-0055
高松市観光通1-18
TEL:087-861-9928
営業時間:年始1/4～
月～金 10時～16時
土 11時～15時
日・祝日 定休日



セカンドハンドのネットワーク

■セカンドハンド福岡
〒814-0131
福岡市城南区松山2-7-15
TEL&FAX:
092-871-5760
営業時間:年始1/16～
月 11:00～15:00

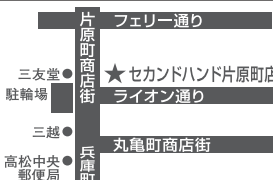


■セカンドハンド大阪
徳 090-6241-3768
(E-mail) tokuyo@d1.dion.ne.jp

■セカンドハンド北海道
大波 Tel:090-2695-9390
Fax:011-785-2311
(E-mail) satomie@seagreen.ocn.ne.jp

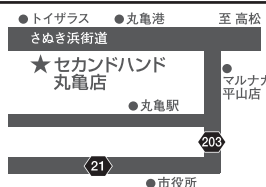
片原町店

〒760-0040
高松市片原町9-1
TEL:087-822-3552
営業時間:年始1/4～
月～金 10時～18時
土・日・祝日 10時～17時



丸亀店

〒763-0063
丸亀市新浜町1-803-2
マルナカパワーシティ丸亀店内
TEL:0877-25-2876
営業時間:
全日 9時30分～19時



● ボランティア募集 ●

お店番、仕分け作業、事務、イベント運営、チャリ
ティーショップやセカンドハンドの運営を支えて
ください。

☆このニュースレターは3か月に一度5500部発行しています。封筒作り、発送作業等をボランティアで行い、約4800部を全国の支援者へ無料で発送しています。
購読ご希望の方は、ハガキ、FAX、メールなどでお申し込みください。